

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 3月22日

事業所名 児童デイサービスすてっぷⅡ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14	1	スペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	15	0	基準以上の配置をしています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	15	0	エレベーターや手すりを設置しています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	15	0	朝礼や職員会議の場で実施しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	15	0	年1回実施しており、結果を全体会議で討議しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	15	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	14	1	第三者委員を設置し、年1回事業報告を行っています。	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	15	0	施設内及び施設外研修に、全員が参加しています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	15	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	15	0	事業所独自のアセスメントシートを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	15	0	全体会議にて討議し活動プログラムを立てています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	15	0	活動内容について計画と振り返りを行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	14	1	長期休暇時は平日の課題の他に別途プログラムを組んでいます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	15	0	個々の課題に応じて、集団と個別を組み合わせています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14	1	毎朝の朝礼で、ミーティングを行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	2	申し送りノートや、翌日の朝礼にて情報共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	15	0	業務日誌と個別療育日誌に記載しています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	15	0	6ヶ月に1回、評価と見直しを行っています。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	15	0	ガイドラインの基本活動全てを組み合わせています。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	15	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	15	0	学校通信での確認や送迎時に情報共有をしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	14	1		受け入れには基準を満たす必要があるため、今後検討していきたい。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	14	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	15	0	情報提供を求められた場合は対応しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	14	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	15	0	年4～6回程度、同世代の交流会を行っています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	13	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	15	0	連絡帳や送迎時に共通理解できるよう心掛けています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	15	0		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	15	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	15	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	14	1	感謝祭や親子交流会などを開催し連携を支援しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	15	0	苦情受付窓口及び、第三者委員の配置しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	15	0	毎月の通信と月2回HPで活動予定や報告をしています。	
	35	個人情報に十分注意している	15	0	個人別にファイルにまとめ、施錠保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	15	0	必要に応じて、ツールを活用するなど配慮しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	15	0		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	15	0		緊急時対応等のマニュアル化はしているが、感染症対策のマニュアルを見直し通知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	15	0	毎月1回、避難訓練(火災・地震)を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	15	0	毎月の会議で、事故防止・虐待防止研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	15	0	身体拘束が必要な利用児はいないと判断しており、身体拘束は行わない体制に努めています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13	2		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	15	0	事例を職員から出してもらい毎月、会議で共有しています。	